

## 沿革

History

西ノ島町は、昭和32年2月11日、国の画期的な町村再編成の線にそって、旧黒木村と旧浦郷町が合併した町で、隠岐の島町に次ぐ人口を有し、島前地区の産業、交通の中心地となっている。

それ以降、漁業と観光の町として発展し、昭和38年には大

山隠岐国立公園に指定され、隠岐を代表する景勝地、国賀海岸により、広く知られている。

古くは、都から後醍醐天皇が配流され、1年間、行宮されたところがある流人の島としても知られ、その史跡も残っている等、歴史ある文化や遺産が今なお受け継がれている。



### 位置、地勢

島根半島から北東へ約65km、日本海に浮かぶ隠岐諸島は大小180余りの島々から成り立つ群島型離島です。この中で人が住む島は西ノ島(にし)のしま:西ノ島町)、中ノ島(なかのしま:海士町)、知夫里島(ちぶりしま:知夫村)、島後(どうご:隠岐の島町)の4つで、島後に対して西ノ島、中ノ島、知夫里島の3つをおわせて、島前(どうぜん)と呼び、大きく2群島に整理することができます。

西ノ島町は島前の3島のうち西ノ島を占め、1つの島で1つの町を形成しています。

### 気候

西ノ島町は、対馬暖流の影響を受けて、日間気温差は比較的少なく、年間平均気温は14.0度と比較的温暖で降水量は年間総雨量1750ミリ、最大積雪量は22センチと山陰地方では極端に少なくなっています。

冬期は北西の季節風が強くなり、200～300mの山脈を背に内海に面する大部分の集落は、しのぎやすくなっています。

### 年間の主な行事

4月	国賀まつり(浦郷)	April
7月	*由良比女神社大祭(浦郷) *海神社大祭(別府)	July
8月	精霊船送り(美田・浦郷) 外浜まつり よいさか(赤ノ江) 民謡の夕べ 成人式	August
9月	*十方拝礼(美田八幡宮)	September
10月	帝まつり(別府)	October
11月	*産業文化祭	November
1月	焼火神社春詣	January

\*は隔年開催



### 町章

西ノ島町の地形を図案化し、調和のある発展を象徴、円は町民の融和と団結をあらわす。

### 町の木



【黒松】

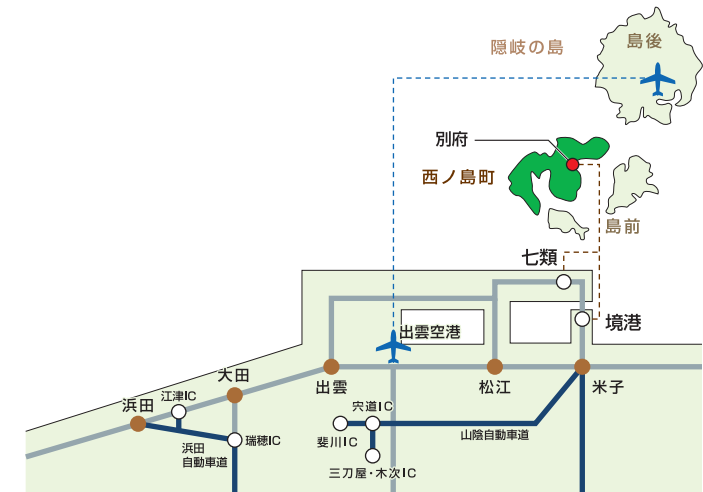
### 町の花



【椿】

### アクセス

Access



発行/西ノ島町役場 企画・編集/西ノ島町総務課

〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷534

TEL:08514-6-0101 FAX:08514-6-0683 e-mail:info@town.nishinoshima.shimane.jp

# 西ノ島町

## 町勢要覧

日本海の楽園をめざす一島一町の元気な町



西ノ島町長 升谷 健

私たちのまち西ノ島町は、昭和32年2月に浦郷町と黒木村が合併し誕生しました。今年が町制50周年の記念すべき年にあたります。

これまで離島として厳しい地理的要件にありながら、美しい自然景観や恵まれた海洋資源、牧畑等を活用して漁業・観光・畜産を基幹産業としてまちづくりを進めております。

昨今の社会経済情勢も離島にとっては誠に厳しい状況にありますが、島の歴史・伝統・文化を大切に、子どもから高齢者まで活力と安らぎある暮らしを目指し、島で生きることの誇りをもてるまちづくりに努めてまいります。

この要覧は、現在の本町の姿をまとめたものです。今、西ノ島町は財政健全化という大きな課題を抱えています。

この課題を解決するには地域住民と行政が協働の精神で力を合わせてまちづくりを進めることが、重要であると考えています。

今後とも皆様の新たなまちづくりへのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

### 町民憲章

The townsman charter

国賀の雄大な自然と豊かな海の資源は西ノ島の誇りです。私たちは、この美しいふるさとに生きることをよるこび、平和で明るい町づくりをめざし、この憲章を定めます。

(昭和62年11月3日制定)

- 1.美しい自然と歴史を大切に文化の香りに満ちた町をつくりましょう
- 1.明るく仲よく助け合い心身ともに健やかで生きがいに満ちた町をつくりましょう
- 1.清新な気概とたくましい創造力をもって産業をおこし豊かに満ちた町をつくりましょう

### 西ノ島町の将来像

future image of NISHINOSHIMA town

21世紀を迎えた本町は、急速に進む少子高齢化、過疎化の進行、社会・経済環境の激変、人々の価値観や意識の変化、高度情報化社会の到来、地方分権化など従来とは大きく異なる状況にあります。こうした中で、将来の本町の進むべき方向を考えた場合、まちづくりの目標は、何よりも町民自身の幸福に結びつくものでなくてはなりません。

本町が有する資源を活かし、町民と行政が一体となり、町民一人ひとりが「いきいき暮らし、喜び、誇りをもてる町」と実感し、「生涯を現役で過ごせる町」となるようなまちづくりを目指して行く必要があります。

このような基本的考え方を念頭に置き、本町の目指すべき将来像を下記とします。

### ●人と人がつなぐ未来への架け橋

### 基本構想

PROJECT にぎわいと活気あふれる地域産業づくり(産業)	1	PROJECT 自然と共生する快適環境づくり(生活環境・環境保護)	2	PROJECT やすらぎと安心の基盤づくり(保健・福祉・医療)	3	PROJECT 夢を支える人づくり(教育・人権・コミュニティ)	4
-----------------------------------	---	--------------------------------------	---	------------------------------------	---	------------------------------------	---

2007 町勢要覧